

みずほCustomer Desk Report 2020/07/31 号(As of 2020/07/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.11
TKY 9:00AM	105.04	1.1781	123.73	1.2981	0.7171
SYD-NY High	105.30	1.1848	124.17	1.3102	0.7198
SYD-NY Low	104.68	1.1732	123.35	1.2947	0.7122
NY 5:00 PM	104.72	1.1848	124.07	1.3096	0.7196
NY DOW	26,313.65	▲ 225.92	日本2年債	-0.140	▲1.00bp
NASDAQ	10,587.81	44.87	日本10年債	0.020	1.00bp
S&P	3,246.22	▲ 12.22	米国2年債	0.120	▲1.18bp
日経平均	22,339.23	▲ 57.88	米国5年債	0.229	▲2.51bp
TOPIX	1,539.47	▲ 9.57	米国10年債	0.544	▲3.28bp
シカゴ日経先物	22,250.00	▲ 300.00	独10年債	-0.5475	▲4.75bp
ロンドンFT	5,989.99	▲ 141.47	英10年債	0.0885	▲2.90bp
DAX	12,379.65	▲ 442.61	豪10年債	0.8760	0.60bp
ハンセン指数	24,710.59	▲ 172.55	USDJPY 1M Vol	7.00	▲0.65%
上海総合	3,286.82	▲ 7.73	USDJPY 3M Vol	7.35	▲0.27%
NY金	1,942.30	▲ 11.10	USDJPY 6M Vol	7.95	▲0.26%
WTI	39.92	▲ 1.35	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	142.78	▲ 1.56	EURJPY 3M Vol	8.00	▲0.07%
ドルインデックス	93.02	▲ 0.43	EURJPY 6M Vol	8.28	▲0.13%

東京	東京時間は105.04レベルでオープン。午前中は105.00前後の狭いレンジでの値動きとなったが、午後は国内勢のドル買いを背景に105.30まで上昇。しかし日経平均株価が軟調に推移したこと、米GDP(4~6月)や米新規失業保険申請件数といった主要な経済指標の発表を前に様子見が広がったことにより上値は抑えられ、105.25レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.25レベルでオープン。前日のFOMCを受けて米金融緩和が長期化するとの見方が再確認されたもののドル円への影響は限定的。105.00-105.27と小幅な動きとなり105.18レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは堅調地合いが続いた。1.1754レベルでオープン。7月独失業率は6.4%(予想:6.5% 前回:6.4%)と3か月連続での6%台、また、4-6月独実質GDP速報値は前期比▲10.1%と四半期ベースでは1970年以降の悪化となった。しかし、新型コロナウイルスの流行に伴う悪影響は織込済であったためか下値は限られ1.1749レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.2958レベルでオープン。全般的なドル安を受け約4か月半ぶりの高値1.3028を付け1.3018レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場でドル売られ過ぎ感から、一旦105.30までドル円が買い戻される局面もあったが、上値は重く、105.18レベルでNYオープン。朝方は、米第2四半期GDP速報値が予想程悪化しなかったものの、マナ32.9%と大幅に低下したことや、構成指数である個人消費が予想以上に悪化し、同時に発表された新規失業保険申請件数がやや予想を下回ったが、失業保険継続受給者数が予想以上に増加したこともあり、ドル円は上値重く推移する。その後トランプ大統領が11/3の大統領選の投票が安全になるまで延期したほうがよいと発言したこと、ドル売りが更に強まり104.97まで下落する。その後105.19まで戻す局面もあったものの、ドル売りトレンドは変わらず。午後に入ると追加の景気対策がまだ共和党と民主党で合意に至らないことや、ユーロドルが一段と上昇する展開に、104.81まで下落。その後もドル円の戻りは遅く、更に下落し、一時104.68を付け、104.72レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、調整から1.1732まで下落し、1.1749レベルでNYオープン。朝方は米経済指標結果や、トランプ大統領の発言を受けたドル売りに、ユーロドルは昨日の高値1.1807を抜き、1.1809まで上伸する。その後は利食い売りに1.1774まで下押しするものの、オプションのガンマショートによるユーロのショートカバーが持ち込まれているとの話や、今週決まるはずの米追加の景気対策が決まらないこともあり、明日はバランスによりドルが買い戻されるとの思惑はあるものの、ユーロドルは下値を更に切り上げ、1.1848まで上昇し、そのまま高値でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

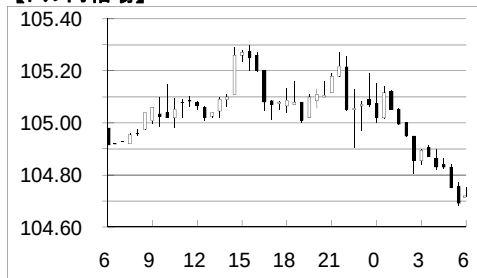
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月30日	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	7月 -16.2	-17
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	7月 -26.1	-24.5
	18:00	欧 失業率	6月 7.8%	7.7%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q A -32.9%	-34.5%
	21:30	米 個人消費	2Q A -34.6%	-34.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	25-Jul 1434k	1445k

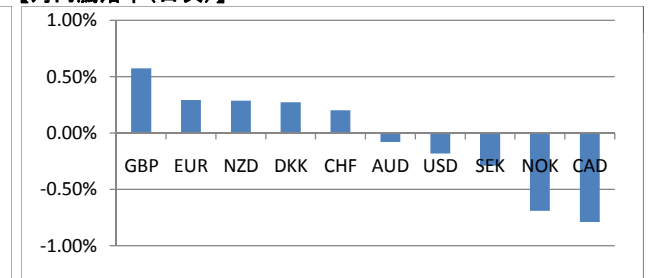
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月31日	08:50	日 鉱工業生産(前年比)・速報	6月 -19.3%	-26.3%
	10:00	中 製造業PMI	7月 50.8	50.9
	10:00	中 非製造業PMI	7月 54.5	54.4
	10:30	豪 PPI 前年比	2Q -	1.3%
	18:00	欧 GDP(前年比)	2Q A -14.5%	-3.1%
	18:00	欧 コアCPI・速報	7月 0.8%	0.8%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	7月 72.9	73.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.30-105.30	1.1780-1.1900	123.70-124.70

【マーケット・インプレッション】

7月30日の海外時間のドル/円は下落基調。
米GDP速報値(4月~6月)が統計開始以来最大の下落率を記録したことや、トランプ大統領が大統領選の延期について言及したことに加え、米長期金利の低下も相まって、対主要通貨でドル売りが強まり一時104.68円まで下落。その後の買戻しも弱く、104.72円でクローズ。
本日月末であり、一定程度実需のドル買いは想定されるものの、米景気停滞懸念、政治不安を背景としたドル売り圧力は継続すると想定され、104円前半を試す展開を想定しておきたい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア

ブル	ペア
6	14